

KIFA Report

河内長野市国際交流協会

Vol. 132

Jul. 2025



アメリカ インディアナ州カーメル市にて 西野修平市長とスー・フィンカム市長

- 2025 年度総会
- 姉妹都市カーメル訪問と桜まつり
- ハートグローバル in 河内長野
- ニュージーランド高校生 河内長野で交流
- Global Café カーメル編
- インフォメーション
- インド舞踊公演
- 国際料理教室～中国編～



2025年度 総会 開催

2025 年 6 月 1 日 (日)
市民交流センター
大会議室

～新メンバーを加えてスタート～



2025 年度の総会が開催されました。顧問として大阪府議会議員の道端俊彦氏を、新たに相談役として衆議院議員（前市長）の島田智明氏を迎え、新たなスタートとなりました。2024 年度の決算、活動報告、2025 年度の予算などが承認されました。

会長の柴 理梨亜氏からは、活動がボランティアによって支えられていること、新しい市長、顧問と相談役の皆さんには、引き続きのご支援とご協力をお願いされました。さらに、会員であり理事でもあるヤングさんのご子息がノルウェーで開催されたベンチプレスの大会で金メダルを獲得したという喜ばしい報告もありました。

2025 年度 KIFA 役員 理事・監事

役職	氏名	所属
理事 会長	柴 理梨亜	KIFA (統括部長)
理事 副会長	谷ノ上 浩久	河内長野市
理事 副会長	辻 秀和	個 人(石駒)
理事 副会長	桝村 博子	KIFA (統括副部長)
理事	鯉坂 はるよ	(学)千代田学園
理事 会 計	上田 雄三郎	KIFA (青少年育成活動事業部長)
理事	大原 一郎	河内長野市日本中国友好協会
理事	工藤 敬子	河内長野ロータリークラブ
理事	後藤 晴美	KIFA (カーメル市交流活動事業部長)
理事	小西 恵子	河内長野市地域女性団体協議会
理事	曾和 宗陽	個 人(裏千家名誉師範)
理事	泰中 美喜代	河内長野市文化連盟
理事	永島 和佳	個 人(観心寺庫裏「KU-RI」)
理事	福田 哲也	(社)河内長野青年会議所
理事	藤原 和美	大阪府立長野高等学校
理事	堀 智真	個 人(天野山金剛寺)
理事	森野 章二	(学)清教学園
理事	Young Huyen Emura	個人(スイスアカデミー)
理事	吉田 顕	個 人(河内長野ガス)
理事	吉竹 英行	河内長野ライオンズクラブ
監事	土生 裕史	河内長野市医師会
監事	寺本 悟	公認会計士・税理士

来賓の西野 修平市長からは、姉妹都市インディアナ州カーメル市への訪問について報告がありました。30 周年を昨年迎えた姉妹都市提携の再確認書にカーメル市のスー・フィンカム市長と共に署名し 40 周年を目指して、市民へ交流の成果を見える化しつつ両市の交流を更に進めていくことを話されました。河内長野市の魅力の世界に向けての発信やハートグローバルの活動を持続的に開催していくことについても言及されました。

市議会議員の堀川 和彦氏は、個人的な国際交流としてカンボジアなどでの経験を話されました。継続的支援の重要性、長期的かつ持続可能な交流が大切と語られました。

顧問の道端氏は、関西万博が開催されている今、世界約 150 の国と地域から人々が集まっており、学生を含む多くの人々がこの機会に様々な国の人々と交流することの価値を強調しました。氏は、このような交流が大阪の魅力や日本人の品格を伝える機会になると信じていると述べられました。

最後に衆議院議員の島田 智明氏が、ケニアのナイロビを訪問し、ワクチン接種やエイズ対策の現状を視察したことを報告されました。実際に現地を訪れることで人道的支援の重要性を実感した事、特に支援金がワクチンや診療所の建設に使われ、人命救助に直結していることを目の当たりにしたことが印象的だったとの事です。また、国際交流の重要性に触れられ、少子高齢化の日本社会において外国人材が必要であり、外国人が住みやすい環境づくりが重要だと述べられました。最後に河内長野市国際交流協会の活動に温かいお言葉をいただき、必要であれば国からの情報も提供すると強い言葉で挨拶を締めくくられました。



姉妹都市 訪問♥カーメル桜まつり カーメル

姉妹都市提携の再確認書に署名する
カーメル市長 スー・フィンカム氏と
河内長野市長 西野 修平氏



5月1日(木) 河内長野市の西野修平市長を含む4名の市長訪問団と7名の市民による市民訪問団が、姉妹都市アメリカ・インディアナ州カーメル市を訪れました。第1回「桜フェスティバル」参加を目標に、シカゴ経由でインディアナポリスへ到着。市役所や姉妹都市委員会の皆さんの温かい出迎えを受け、市長訪問団はホテル・カーマイケルに滞在。市民訪問団はホテルとホストファミリー宅に別れて滞在、カーメル市長との交流や施設見学など多岐に渡る活動が始まります。

5月2日(金) 滞在初日には、市長訪問団はカーメル市長や補佐官との面会を行い、姉妹都市提携の再確認書に署名。市役所やパフォーミング・アーツ・センター「パレイディウム」なども見学しました。市内のレストランでのランチでは、カーメル市関係者に加えて地元関係者とも交流。午後から市民訪問団と合流し、清教学園の姉妹校であるカーメル高校を訪れ、その豊かな教育設備に驚かされました。水泳の強豪校として有名で、テレビや舞台、調理、建築など実践的な学習環境も整っています。

さらに、「世界一小さい子ども美術館」では、河内長野市の子どもたちの絵画も展示されており、文化交流の成果が見られました。また、警察のドローン部隊の実演も見学。事件や行方不明者対応にドローンが活用されている様子に、参加者一同感銘を受けました。

5月3日(土) 西野市長のベルの合図でファーマーズ・マーケットが開幕され、カーメル市民との触れ合いを楽しみました。様々な地元食材やスイーツが並び、活気ある朝を体験。その後、長年ホストファミリーを務めて来られたマイヤーズ家を訪問。4月の竜巻による被害にも触れつつ、交流を深めました。

午後はカーメル歴史博物館や図書館を訪れ、地元の歴史や文化、最新の設備を見学。図書館では3Dプリンタやプログラミング体験ができるのだから。日本語の本も見られました。夕方にはビックルボールを体験し、夜はカーメル市長らとの夕食会。市民訪問団が持ち込んだ兜を囲んで会話が弾みました。

5月4日(日) 「桜フェスティバル」本番。あいにくの雨にも関わらず、多くの市民が訪れ、訪問団メンバーが甲冑姿や茶道を披露。西野市長の英語スピーチや、「カーメル・河内長野・クックブック」の紹介も行われ、文化交流の成果が広く伝えられました。河内長野市長訪問団のテントにも多くの来訪者があり、日本への関心の高さを感じる1日となりました。

5月5日(月) 視察最終日に最初に訪れたのはストリート・デパートメント（道路局）。市が管理する道路や街路樹などの情報をデジタルで一元管理しており、樹木の状態や倒木の様子も画面上で確認できることに驚かされました。

次に訪れた市の再開発局では、25年先までの税収を見越し

て市街地整備を進める仕組みを学びました。市が駐車場を整備し、企業や住宅開発を誘導することで税収を生み出すという、持続可能な都市開発のモデルが印象的でした。また、街全体の景観統一にも力を入れており、調和しない建築には許可が下りないとのこと。他のアメリカ各都市とは一線を画した、ヨーロッパ風の街並みづくりにも触れました。

その後訪れた消防局では、子ども向けの防災教育施設を見学。AEDの使用通知システムや、火災・竜巻のシミュレーション映像、ラウンドアバウトの交通学習など、先進的かつ体験型の学びの工夫に感心しました。歴代消防車の展示室で、河内長野市から贈られた消防ヘルメットを見つけた時には、両市の過去の交流の跡を感じることができました。

今回の訪問を通して、カーメル市との友情と交流がより一層深まり、今後の相互理解や市民レベルでの関係強化につながる貴重な機会となりました。



ハートグローバル in 河内長野

～世界の仲間と音楽でつながる2日間～



昨年に引き続き、今年も「HEART Global」のプログラムが河内長野市のラブリーホールで開催されました。今年は、初参加の40名を含む、128名の子どもたちが参加。小学校1年生から高校3年生まで、河内長野市内はもちろん、市外各地からも多くの子どもたちが集まりました。

これまで3日間の日程で行われてきた本プログラムですが、今年は土曜・日曜の2日間に凝縮して開催。ドイツ、オーストラリア、アメリカ、インドなど、世界各国から集まった若者たち（キャスト）と共に、音楽を通じた国際交流と創作活動に取り組みました。舞台監督（ディレクター）を務めたのは、アメリカ・カリフォルニアのディズニールンドで子ども向けプログラムを手がけるジョーダン・マンタイ氏。子どもたちに伝わるよう、やさしい英単語を選び、大きなジェスチャーと表情豊かな話し方で進行される姿が印象的でした。

初日、受付開始前からロビーにはワクワクと少しの不安が入り混じった表情の子どもたちと保護者の姿が。受付を終え、ホールに入った子どもたちは、キャストや学生ボランティアであるキッズサポーターに引き継がれました。今回は多くの保護者の方々が見学に残られ、お子様の様子をカメラやビデオで記録されていました。早速、舞台上にあがった子供たちは、注意事項や緊急時の避難方法について説明を受けた後、プログラムがスタート。エネルギッシュなキャストに引き込まれ、子どもたちは楽しみながらダンスや歌を吸収していきました。振付や歌に加え、次々と変化するフォーメーションを覚えるのは簡単ではありませんが、子どもたちは目や耳、体をフルに使いながら一生懸命に取り組んでいました。

2日目は、ソロパートに挑戦する緊張気味の子や、前日の疲れが見える子の姿もありましたが、プログラムが始まるとすぐに元気を取り戻し、より細かく立ち位置や動きを確認しながら本番に向けた練習を重ね、どの子どもたちも真剣な表情で取り組んでいました。練習の合間には、キャストによる『ライオン・キング』の演目が披露され、保護者の方々も舞台上上がって身体や声を使った表現に参加する場面もあり、会場全体が一体となって盛り上がりしました。

西野市長ほか大勢の来賓も迎え、いよいよ本番のステージ。第一部はキャストによる歌とダンスのショーで、各年代で流行した懐かしい楽曲にのせたパフォーマンスが披露され、観客の皆さんが思わずリズムにのってしまうような楽しい雰囲気になりました。第二部は、2日間の成果を発表する子どもたちのステージがスタート。歌やダンス、子どもたちも加わった『ライオン・キング』の演目、ソロパート、さらには手話を取り入れた演出など、子どもたちはすべての演目を最後まで全力でやり遂げ、大きな拍手とともに誇らしげな表情を浮かべていました。そして全員での記念撮影をした最後はキャストとのお別れタイム。今年の参加記念Tシャツは赤色で、子どもたちはキャストからサインをもらったり、一緒に写真を撮ったりして名残を惜しんでいました。

初めは不安や緊張を感じていた子もいたと思いますが、勇気を出して挑戦し、やり遂げた姿はとても輝いていました。来年もまた、河内長野市でこの素晴らしいプログラムが開催され、子どもたちの笑顔があふれることを心より願っています。



※「HEART Global」は2020年に設立した米国に本部を置く非営利の音楽教育団体で、音楽を通じて世界中で人々に希望と元気を与えることをミッションに掲げ、学校や地域に音楽出張授業をおこなう「ミュージック・アウトリーチ」など、さまざまなプログラムを実施しています。



ニュージーランド

ヒルモートン校生 河内長野で交流

～日本文化、いろいろ体験～

4 月 19 日 (土) 巻き寿司作りとウェルカムパーティー

ニュージーランドのクライストチャーチにあるヒルモートン校から、高校生たちがやってきました。到着のその日には、市民交流センターの食工房で、和食調理人の新井さんのご指導の元、巻きずし作りに挑戦です。具材やすし飯、のりなどはすべて新井さんとボランティアで準備。最後の巻きずしで巻くところだけなのですが、きっちり巻くのは結構難しい。でも、出来上がった自分たちで食べるので、色々あっても大丈夫。お味噌汁とお済まし汁も用意されていて、みんなで美味しくいただきました。



食事のあとは、イベントホールで昔遊び体験をしました。習字、折り紙、コマ回し、けん玉、大正琴、輪投げの各コーナーに分かれてトライします。単純な遊びなのに輪投げが結構盛り上がり、遊んでいるうちに、次々とホストファミリーの方たちも集まってきて、一緒に遊びました。最後にホストファミリーとのマッチングを行い閉会となりました。

4 月 21 日 (月) 東中学校訪問と観心寺



市内の東中学校で交流授業に参加しました。各クラスに 2,3 人ずつ別れて入り、自己紹介したあと授業に参加します。中学生も一生懸命、英語で話しかけていました。後半では全員体育館に集まり、東中学校で準備していただいたゲームなどを楽しみました。チケットをもらったり、折り紙をしたり、けん玉や竹馬の体験もありました。ヒルモートン校生も歌を披露し、中学生にも歌に参加してもらうなど楽しく過ごしました。



昼食は観心寺にほど近い「松中亭」で、野菜カレーを頂きました。古い民家を改造したレストランは、梁や壁がなかなかの風情です。



カレーのあとは、徒歩で観心寺へ。手水で手を洗いお線香をあげたりしながら本堂へ。本堂では観心寺のご住職の永島全教（ながしままさのり）氏から、仏像や仏教について

お話を伺いました。その後は境内をあちこち散策し、北斗七星巡りをしたり、天皇陵まで登った学生もいました。

4 月 22 日 (火) 府立長野高等学校見学と交流

一行は、ホストファミリーと一緒に河内長野市役所に集まり、市役所前で記念撮影をして大阪府立長野高校に向かいます。同校には、国際文化科・国際教養科があり、外国の人々と自由にコミュニケーションできる能力を磨き、国際社会で活躍できる人材の育成を目指しています。市役所から坂道を上がるとすぐに長野高校です。初めて見る日本の高校の様子に皆さん興味深々です。教室に入り、学校の説明を受けたあと、中庭に作られた池を見ながら図書室に移動します。図書室にある、Japanese Comic のコーナーを見つけてワイワイガヤガヤ。グループに分かれて席についたところで、長野高校の皆さんと合流です。英語での自己紹介から始まり、長野高校の生徒さんたちが準備したプレゼンテーションを聴きながら、皆すぐに親しくなり会話が弾みます。



ニュージーランドの高校生の受け入れは、KIFA にとって今回が初めてでした。子どもたちが、世界のいろいろな国の人々と会い、一緒に何かをして過ごすということは、お互いの理解を大きく助けてくれる体験だと思います。これらの活動が、ますます盛んになり、国際交流の輪が広がっていくことを願います。





グローバルカフェ Global Café

～カーメル編～

2025 年 6 月 7 日 (土)

市民交流センター カフェコーナー

天気にも恵まれ、グローバルカフェは初のカーメル編が開催されました! キックスのエントランスにはカーメルを紹介する写真が飾られ、カフェコーナーでは、先の姉妹都市交流の様子が映像で映し出されています。現地での交流プログラムを終え無事帰国した KIFA メンバーと共に、カーメルからコーヒー豆がやって来ました! 実はこの豆、両市の交流 30 周年を記念し出版された、クックブックの著者 イーサン・マクアンドリュース氏の両親が営む焙煎所で製造されたもの。おしゃれなカフェも併設された、ショップロゴのダックスフントがとても可愛いカーメルでも大人気のお店です。そんな素敵なお店から、“サークル”、“ホンジュラス”、“コロンビア”という 3 種類のコー



ヒー豆が今回提供されました。“サークル”はいわばブレンドコーヒーのような位置づけで、以下のような意味が込められています。“上質でお気に入りのコーヒーがある日々の暮らしはリズム (めぐる輪) のようであり、それをシェアできる仲間 (の輪)、それらはどちらも人生において最も重要なもの”。コーヒー造りへのとても深い愛を感じますね! 続いて“ホンジュラス”の少し酸味を感じる香ばしさに対し、“コロンビア”はあっさりとした印象。三者三様、コーヒー好きの方にはとても楽しんでいただけたのではないかと思います。好みのコーヒーをオーダーした後セットで運ばれてくる大きなチョコチップクッキー

を前に、「わぁ!大きい!」と感嘆の声が上がったり、「このコーヒーを選んでよかった。とても美味しいです!」という嬉しいお声も多数。来訪者の中には 12 年前市民を代表してカーメルを訪れたという方や、カーメルとの文化交流に興味があって・・・という方など、様々な方がいらっしゃいました。交流プログラムから帰国した河内長野メンバーももちろん大集合です。思い出話や両市のより良い関係作りについてなど、話に花を咲かせていました。コーヒーが人と人との仲を深め、笑顔にしていける様子はまさに“サークル”コーヒーのコンセプト通りの光景でした。今回のグローバルカフェは、コーヒーで人を笑顔にしたい、というカーメルからの願い、そしてその願いを河内長野市民にも届けて笑顔になってもらいたい、という両市の友情から実現しました。カフェ内に置かれたクックブックの中の一文、「互いの文化を理解する一番の方法は、目で見るのではなく、食を通じて。」その言葉通り、カーメルをより近くに感じ、そしてもっと好きになった一日でした!



●日本語サロン スケジュール

月	曜日	日曜 Sun.	火曜 Tue.	木曜 Thu.
7月	Apr	6・13・20・27	1・8・15・22	3・10・17・24
8月	May	3・24・31	5・26	7・28
9月	Jun	7・14・21・28	2・9・16・30	4・11・18・25

<開講場所と時間>

日曜日 Sundays 14:00～15:45

千代田公民館 2階

火曜日 Tuesdays 10:00～11:30

市民交流センター (KICCS) 3階

木曜日 Thursdays 18:00～19:30

ノバティ南館3階 ノバティホール



●語学クラス スケジュール

○英語フリートーキング 予定講師

7月 Mr. Kevin Riley (Switzerland)

8月 休講

9月 Mr. Les Mojo Jones (UK)

コース	英語 フリー トーキング	英語 (中級)	英語 (初級)	中国語 (中級)	中国語 (初級)
時間	14:00～15:30	19:00～20:30	19:00～20:30	19:00～20:30	10:00～11:30
開講日	7月	12	8・22	1・15・29	4・18
	8月	休講	休講	休講	休講
	9月	13	9・30	2・16	5・19

■KIFA Day with Carmel High School スタッフ募集

隔年で河内長野にやってくる姉妹都市カーメルの高校生が日本文化を体験します。巻きずし作りと習字アートを予定しています。

と き：7月16日（水） 10：00～13：00
ところ：市民交流センター 食工房、創作工房
問合せ：事務局へ



■多文化の部屋 ～ピースボート編～

写真と動画で綴る
「9 6日間地球一周クルーズ乗船記」

講 師：阿倉 薫氏
と き：7月19日（土） 14：00～15：30
ところ：市民交流センター 視聴覚室
参加費：無料
定 員：20名
申込み：7月1日（火）9：00より事務局へ
（電話またはメールで氏名・連絡先）



■世界とつながろう！

外国人ゲストのブースを訪ねて、その国の遊びや食べ物など色々なことを教えてもらおう。

と き：7月22日（火） 14：00～15：30
ところ：市民交流センター イベントホール
参加費：無料
定 員：24名
申込み：7月1日（火）9：00より事務局へ
（電話またはメールで氏名・連絡先）



■問い合わせ・申込み■

河内長野市国際交流協会 (KIFA)
事務局
〒586-0025 河内長野市昭栄町7-1
市民交流センター(キックス) 3階
TEL: (0721)54-0002
FAX: (0721)54-0004
Eメール: office@kifa-web.jp



事務局の
夏休み
8月9日（土）
～14日（木）

■Global Café ミャンマー・チャリティー

ミャンマー国内での軍事的混乱に加えて、地震の被害もあり人々の暮らしは困難を極めています。少しでも支援になればと、チャリティーイベントを開催します。

と き：7月25日（金）26日（土） 11：00～15：30
ところ：市民交流センター エントランス カフェコーナー

＊通常の Global Café のスケジュールは下記をご覧ください

■Global Café スケジュール

7月11日（金）、12日（土） ペルー編
8月15日（金）、16日（土） フィリピン編
9月19日（金）、20日（土） ラオス編
9月26日（金）、27日（土） インドネシア編

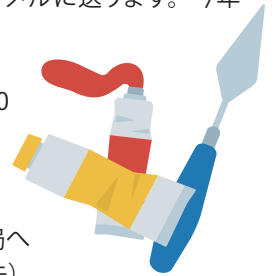
★開店時間は原則11AM～3PM



■夏休み子ども絵画教室

30 年以上続いている姉妹都市カーメルとの絵画交換プログラム。今年も絵画教室で制作した絵をカーメルに送ります。今年のテーマは「何が出るのかな？」

と き：8月5日（火） 13：00～17：00
ところ：市民交流センター 創作工房
参加費：500 円
定 員：25 名
申込み：7月1日（火）9：00より事務局へ
（電話またはメールで氏名・連絡先）



おめでとう！
Congratulations!

当協会会員で理事のヤングさんの息子さん、栄村 潤一郎さんが、ノルウェーのオスロで開催されたベンチプレスの国際大会でみごと優勝されました！
パワーリフティングを始めたのは去年の4月。次の目標は世界記録奪取とか。さらなるご活躍を応援します！



※河内長野市在住の外国籍を有する市民数 1,126人（2025年4月末現在）

コース		スペイン語 (初級)	韓国語 (中級)	韓国語 (初級)	韓国語 (入門)	タイ語 (初級)
時間		19:00～20:30	13:00～14:30	10:40～12:10	15:00～16:30	19:20～20:50
開講日	7月	4・18	9・23	9・23	9・23	4・18
	8月	休講	休講	休講	休講	休講
	9月	5・19	10・24	10・24	10・24	5・19



国際料理 教室

国際料理教室

～中国編～

今年度 1 回目の国際料理教室は中華料理編でした。講師は呉遠航先生で、来日して 10 年、普段は学校で英語を教えているのですが、調理師学校で 2 年間日本料理を学び、調理師免許を取得、今まで機会がなかったけれど料理教室を開いてみたいと思っておられたそうで、今回のオファーも快く引き受けてくださいました。

メニューは「上海焼きそば」「白身魚の中華風蒸し」「トマトと卵のスープ」の 3 品。まずは豚肉の下味の付け方や、各材料の切り方などの説明を受けたあと、参加者は各テーブルにわかれ料理をスタート。初対面の方達でも声を掛け合いながら、それぞれ役割分担をし、食材を切り分けたり、使った用具を片づけたり。その後も呉先生から各手順で丁寧にポイントを説明してもらいながら、和気あいあいと料理作りが進んでいきました。

トマトと卵のスープはとってもシンプル。お湯が沸騰したら塩少々とトマト、今回はダシの代わりに桜エビを入れたらトマトのうまみが溶け出すくらい柔らかく煮て、あとは塩で味を調えて溶き卵を回し入れると、スープの素などは入れてないのにとても美味しくできあがりしました。



2025 年 6 月 14 日 (土)

市民交流センター 食工房

講師: 呉 遠航さん

白身魚の中華風蒸しは、スライスした生姜と細葱の白い部分を切ったものをお皿に敷いて魚を乗せ、お酒をまわしかけて 7 分蒸すだけ。あとは飾りに細葱と生姜の千切りを蒸しあがった魚に乗せ、魚醤をレンジであたためたものと熱した油を回しかけてできあがり。



上海風焼きそばは、たっぷりの野菜と豚肉に葱油、醤油、オイスターソースとホワイトペッパーで味付け。日本のソース焼きそばとはひと違う味わいに仕上がりました。

出来上がった料理を皆さんで試食。白身魚は蒸すことで身がふっくらし、とても美味しくおなかいっぱいになりました。

途中、呉先生から「何か挑戦したい中華料理はありますか？」の質問に、春巻きや点心、水餃子などのリクエストも。また呉先生を迎えて料理教室ができたと思います。

インド舞踊公演 「Rasa: 桜への道」

～遠い国からの愛と憧れの歌～



現代インド舞踊の魅力を存分に感じられる圧巻の舞台でした。出演はアースタ・ガンジーさんとシーナ・ヴェラユダンさん。2008 年の「OSAKA IN THE WORLD」で来日し、河内長野を含む関西各地で公演した彼らが、当時のホストファミリーへの感謝を込めて再来日しました。

舞台は 6 部構成で、出演者は二人だけ。日本への想いや自身の歴史、内面の葛藤と喜びが繊細に表現され、特にその静けさと優雅さに驚かされました。終盤には 2008 年の映像が流れ、懐かしさに包まれる場面も。観客には当時関わった方々の姿も見られ、17 年ぶりの再会が感動を呼びました。後半はカルラ・アジアダンスのお二人の華やかな踊りで、会場がさらに盛り上がりしました。

2025 年 3 月 26 日 (水)



編

集

後

記

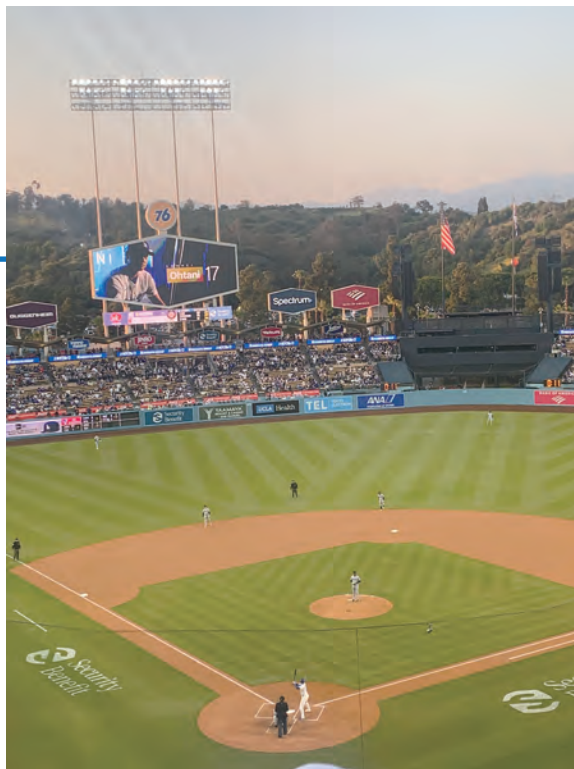
今回はアメリカ・ロサンゼルスから KUMI が編集後記をお届けします。

ロサンゼルスに来て 3 か月が経ち、何気ない会話が思いもよらない素敵な出会いに繋がることを実感しています。例えば、職場に来たお客さんと話をしていると、なんとハートグローバルの元キャストで河内長野のことを知っていたり、フラッと入ったスタバの店員さんが大阪旅行から帰ってきたばかりで大阪の魅力を語り合ったり、(笑)

「国際交流」といえば難しい事のように感じますが、友達と話すような気軽な会話からすべてが始まるんじゃないかなと思います。何気ない共通点が、国籍や言葉を超えて心が通じ合うきっかけに。そういった共通点って、意外とすぐそばにあるものなんですよ。

「新しい人と出会ってみたい」「今までとは違う経験をしてみたい」そんな気持ちがある方、ぜひ KIFA のイベントに参加してみてください！リラックスした雰囲気の中で交わすささやかな会話が、あなたにとって大切な出会いになるかもしれません。何気ない出会いがきっかけで私がアメリカにいるように、あなたの一歩が世界をぐっと近づけてくれるかもしれません♪

KUMI



先日行った球場で、バッターは大谷翔平!